

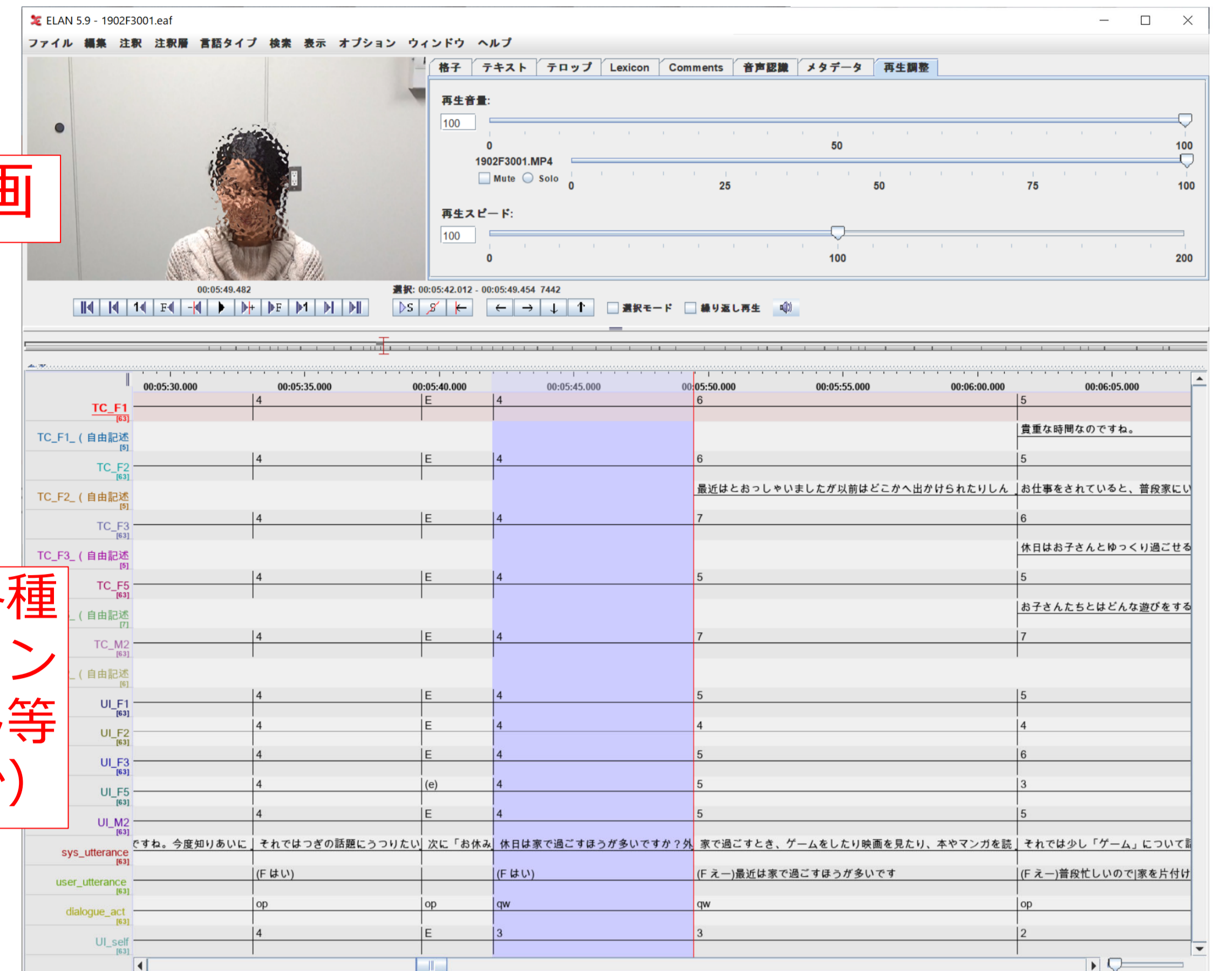
大阪大学マルチモーダル対話コーパスHazumi

駒谷 和範（大阪大学 産業科学研究所），岡田 将吾（北陸先端科学技術大学院大学）



- 人とシステムとの対話を収録したコーパス
 - ユーザのふるまいは人どうしの対話とは異なる
 - システムはWizard-of-Ozで動作（人手で操作）
- ユーザのふるまいが主な収録対象
 - システムと話すユーザの表情や声の韻律，姿勢など
 - 一部バージョンでは生体信号も収録
- 様々なアノテーションやアンケート結果を含む
 - 参加者本人と複数名（5名）の第三者が付与
 - 交換単位のアノテーションは全18,612交換に付与

動画



交換ごとの各種アノテーション（書き起こし等を含む）

全部入りELANファイルのELANファイルでの表示例

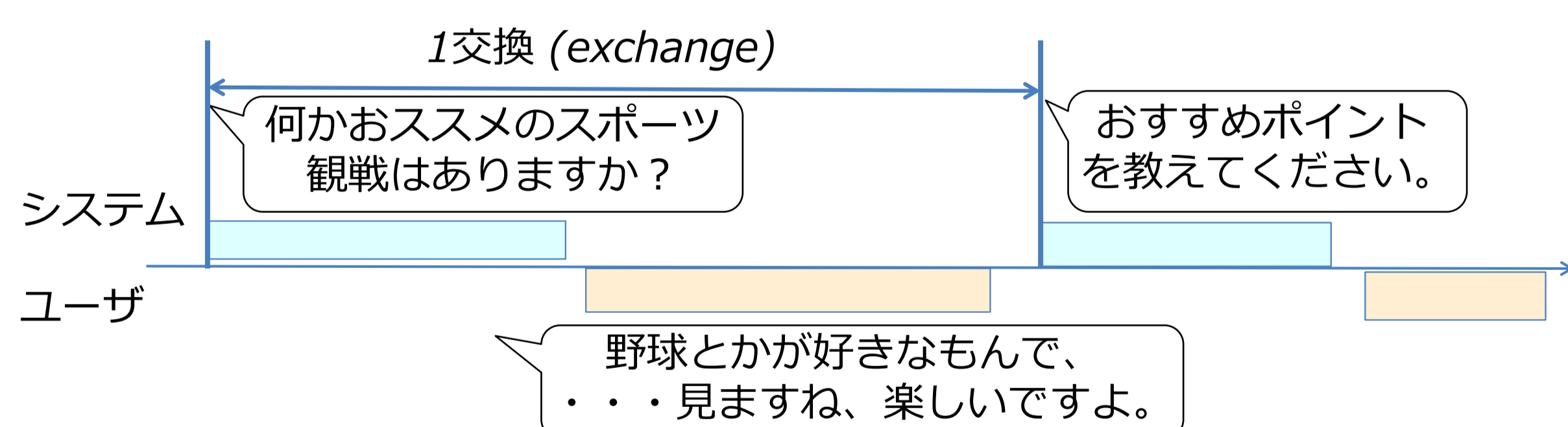
データの内容

- 全6バージョン：バージョン番号4桁は収集開始年月
- 総計214名（対話），18,162交換（発話対）

	Hazumi1712	Hazumi1902	Hazumi1911	Hazumi2010	Hazumi2012	Hazumi2105
収集開始年月	2017年12月	2019年2月	2019年11月	2020年10月	2020年12月	2021年5月
収録形態	対面収録			Zoom収録		
タスク	雑談（興味あり3話題となし3話題）			雑談（話題：旅行，食べ物，スポーツなど） Wizardへは「とにかく対話が盛り上がるように」と指示		
データ量参加者	29名 2,422交換 20代～50代	30名 2,514交換 20代～70代	30名 2,859交換 20代～70代	33名 2,798交換 20代～60代	63名 5,334交換 20代～60代	29名（2回目） 2,235交換
使用センサ	参加者のビデオ（顔画像+上半身） Kinect収録データ エージェント（システム）のビデオ			Zoomのビデオ（参加者とエージェントが並置）		
交換単位のアノテーション	興味度（3段階；3or6名）	参加者自身による心象評定「振り返りアノテーション」（7段階）		心象評定（7段階；第三者5名） 話題継続（7段階；第三者5名）		
対話単位のアンケート	参加者自身によるラポール18項目（対話前，対話後） 第三者（5名）によるラポール18項目（対話後） Wizardによるラポール3項目（抜粋）（対話前，対話後）			参加者自身による性格特性（TIPI-J） 第三者（5名）による参加者の性格特性（TIPI-J） 参加者が人間による操作であることに気付いた度合		

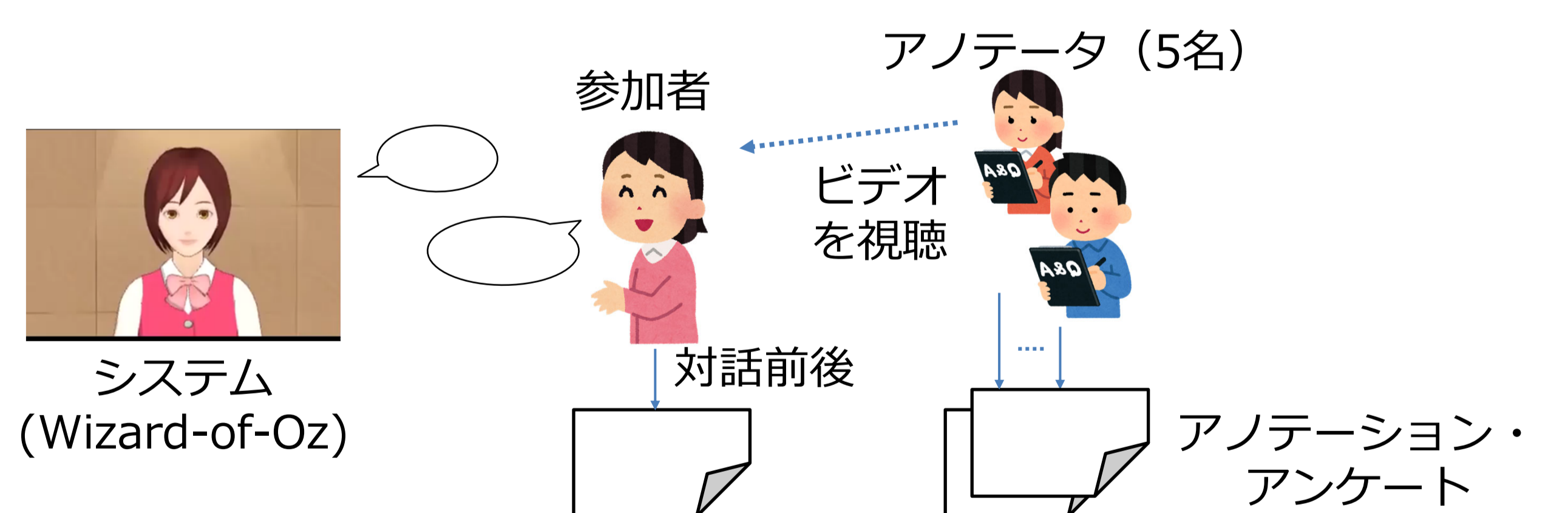
交換単位の心象アノテーション

- 交換（システムの発話とユーザの発話の組）
システム発話開始時刻から、次のシステム発話開始時刻まで



- 第三者アノテータ5名と、（一部バージョンで）参加者自身が付与
- 心象 (sentiment)：ユーザが対話を楽しんでいる度合（7段階）

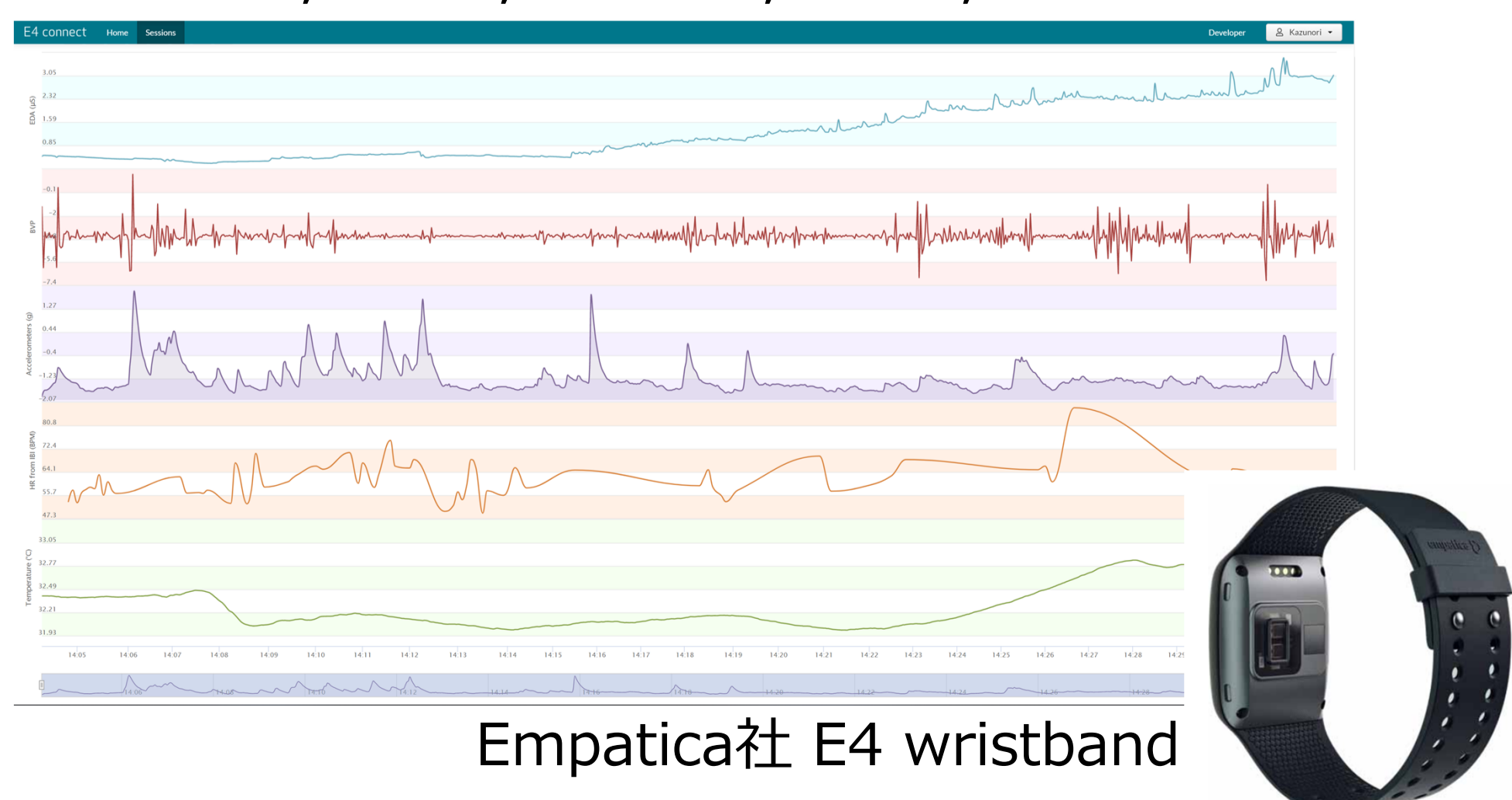
参加者自身と第三者によるアノテーション・アンケート結果



- 対話単位のアンケート
- ラポール18項目 [木村，余語，大坊 (2005)]
行った対話に関する評価（各8段階）
例：「会話をうまく調整することができた」など
 - 性格特性
TIPI-Jによるビッグファイブ（各7点×2）

対話中の生体信号 (Hazumi1911)

- 皮膚電位，心拍，加速度，脈波，体温を計測



提供方法

- 研究開発目的に限り，研究者に対して提供可能
- NIIとGithubにて公開中
 - NII：動画（個人情報を含むもの；要誓約書提出）
<https://www.nii.ac.jp/dsc/idr/rdata/Hazumi/>
 - Github：アノテーション，特徴量ファイルなど（自由にダウンロード可能）
<https://github.com/oukklab/Hazumi2010> など
各バージョンごとにページがあります

